

∴  
知財座敷童（ざしきわらし）語り部  
∴  
『スタートアップとファンド』

福島県知財総合支援窓口  
事業責任者 野地義幸

#### 1. はじめに

福島県発明協会長の呼び掛けで「ふくしまメディカルヒルズ・ファンド」が、2023年に発足しました。GPはFVCTohoku株式会社、LPには県内金融機関及び民間企業で構成されています。これまでに3社への投資が実行されています。（尚、投資額は非公表となっております。）

#### 2. 応募要件

応募要件はファンドのタイトルからも以下の3項目です。

- ・医療関連分野の事業であること。
- ・福島県内に事業所を有すること。
- ・知財を保有するまたは取得予定であること。

福島県の強みを更に伸ばすことに着眼し、医療分野に焦点を当て、知財活用と県内産業振興を図る会長の想いが反映されています。

#### 3. 福島県発明協会の役割

当協会の役割としては、「応募する企業を推薦すること」、「投資された企業をサポートすること」にあります。

応募企業の推薦については、2023年3月にビジネスコンテストを開催し、5社の推薦を実施しました。内2社が投資につながっております。企業のサポートについては、各専門分野のメンター6名を登録し、メンターによる支援を行うことにあります。

#### 4. 今後について

投資に関しては、当協会としてビジネスコンテストで推薦した企業への投資へ向けたフォローと、新規推薦企業の発掘を行うこととしております。

メンター支援に関しては、より効果的な支援につなげるための運用環境の整備が重要ですが、初めての取り組みでもあり、試行錯誤しながら苦慮している実情にあります。

#### 5. 最後に

スタートアップは資金面もさることながら、マンパワー不足も深刻です。事業が軌道に乗るまでの資金と業務過多でありながら人員は限られていること。

何か良い知恵がありましたらご教授いただければ幸いです。

※配信元：東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）

※本コラムの無断転載を禁じます。